

2010.10.30

チーム 各位

日本アメリカンフットボール協会
アンチ・ドーピング部会長 川原 貴

ドーピングコントロールにおける「治療目的使用の適用措置 (TUE)」の申請について

1. 競技者の治療薬、市販薬、サプリメントなどの使用状況を把握し、必要があればTUEを申請してください。その際、チームドクターの協力が必要です。

禁止リスト、TUE 申請書式は日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) のホームページに掲載されています。禁止リストは毎年改訂されますが、10月1日に世界アンチ・ドーピング機構 (WADA)、JADA のホームページに公示され、翌年の1月1日から発効します。

使用可能薬物リストは日本薬剤師会のホームページに掲載されています。

2. ベータ 2 作用薬(喘息の治療薬)については、サルブタモール吸入(最大 1 日用量 1600 μ g)とサルメテロール吸入は事前の TUE 申請不要となり、ドーピング検査時に申告すればよいことになりました。ただし、尿中のサルブタモール濃度が 1000ng/ml を越える場合は違反となる場合があります。

上記 2 種類以外のベータ 2 作用薬の吸入、ベータ 2 作用薬の全身投与は、事前の TUE 申請が必要です。

3. 糖質コルチコイド(副腎皮質ホルモン)の局所投与は TUE 不要となりましたが、検査時に申告が必要です。全身投与(経口、直腸内、静脈内、筋肉内)は TUE が必要です。

4. TUE 申請で認められるのは、他に治療法がない特殊な場合のみです。単に禁止物質を処方されているからという理由で申請しても許可されません。申請する場合には、診断の根拠となるデータや他に治療法がないことの説明が必要です。

5. TUE 申請時には TUE 申請書、確認書、診断根拠となる添付資料(医療記録)が必要です。診断根拠となる添付資料(医療記録)は以下のものです。

- ・臨床経過を記載した文書
- ・診察所見、必要に応じて写真
- ・検査結果、必要に応じてデータ、報告書コピー
- ・画像所見、フィルム

ベータ2作用薬吸入の TUE 申請では「JADA 吸入ベータ2作用薬使用に関する情報提供書」(JADA ホームページにある)も必要です。

6. TUE 申請書の競技者氏名は日本語と英語両方を記載してください。それ以外は日本

語で結構です。申請書は漏れなく記載してください。所属国内スポーツ団体の欄は「日本アメリカンフットボール協会(チーム名)」という具合にチーム名も記載してください。

7. 予想される薬物療法の期間を明記してください。TUE で許可される禁止物質の使用期間は1年までですので、予想される薬物療法の期間は最長1年までとしてください。

8. TUE 申請書の送り先は日本アンチ・ドーピング機構です。郵便を原則としますが、緊急の場合には FAX でも結構です。申請は大会の3週間前までです。

申請書に不備があった場合には選手が不利益を蒙ることもありえますので、同時に川原宛にコピーを送り、その旨をメールで連絡すれば、川原が申請書に不備がないかをチェックし、メールで連絡します。

9. TUE 申請書の送り先

日本アンチ・ドーピング機構

〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1 国立スポーツ科学センター内

電話 03-5963-8030 FAX 03-5963-8031

E-mail : jada@anti-doping.or.jp

国立スポーツ科学センター 川原貴

〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1

電話 03-5963-0211 FAX 03-5963-0212

E-mail: kawahara.takashi@jiss.naash.go.jp

10. 禁止薬か、使用可能薬か、については日本薬剤師会、都道府県薬剤師会の窓口にお問い合わせください。ドーピング検査や TUE に関する疑問などはメールで川原にお問い合わせください。